

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年6月27日 (2013.6.27)

【公開番号】特開2013-91002(P2013-91002A)

【公開日】平成25年5月16日 (2013.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2013-024

【出願番号】特願2013-32677(P2013-32677)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月21日 (2013.3.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クロック信号を少なくとも出力可能な信号出力手段と、
前記信号出力手段により出力される前記クロック信号を使用した制御を少なくとも実行可能な制御手段と、
遊技を演出する演出動作を少なくとも実行可能な演出手段と、
を備えた遊技台であって、
前記信号出力手段は、スペクトラム拡散クロック信号を少なくとも出力可能なものであり、
前記制御手段は、前記スペクトラム拡散クロック信号を使用して前記演出手段を少なくとも制御可能なものである、
ことを特徴とする遊技台。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技台であって、
前記制御手段は、前記スペクトラム拡散クロック信号を使用してカウントされたカウント値を使用して演出抽選を少なくとも実行可能なものであり、
前記制御手段は、前記演出抽選の結果により前記演出手段を少なくとも制御可能なものである、
ことを特徴とする遊技台。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の遊技台であって、
一周期に出力される前記スペクトラム拡散クロック信号の数を、前記カウント値がとり得る値の数と異ならせた、
ことを特徴とする遊技台。

【請求項 4】

請求項 3 に記載された遊技台であって、
一周期に出力される前記スペクトラム拡散クロック信号の数を、前記カウント値がとり得る値の数より少ない数とした、

ことを特徴とする遊技台。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る遊技台は、クロック信号を少なくとも出力可能な信号出力手段と、前記信号出力手段により出力される前記クロック信号を使用した制御を少なくとも実行可能な制御手段と、遊技を演出する演出動作を少なくとも実行可能な演出手段と、を備えた遊技台であって、前記信号出力手段は、スペクトラム拡散クロック信号を少なくとも出力可能なものであり、前記制御手段は、前記スペクトラム拡散クロック信号を使用して前記演出手段を少なくとも制御可能なものである、ことを特徴とする遊技台である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

本実施例 1 に係るスロットマシン 100 によれば、スペクトラム拡散クロック信号に基づいて乱数を生成することができるため、制御負担やメモリ容量の増大を回避しつつ、遊技の制御に用いる乱数の狙い撃ちを困難とし、不正行為を効果的に防止することができる。また、乱数生成サイクル時間を把握することが難しいため、遊技の制御に用いる乱数の狙い撃ちを一層困難とし、不正行為を効果的に防止することができる場合がある。

また、本実施例 1 に係る遊技台（例えば、スロットマシン 100）は、クロック信号を少なくとも出力可能な信号出力手段（例えば、発振部 316）と、前記信号出力手段により出力される前記クロック信号を使用した制御を少なくとも実行可能な制御手段（例えば、副制御部 400）と、遊技を演出する演出動作を少なくとも実行可能な演出手段（各種ランプ、扉装置 163）と、を備えた遊技台であって、前記信号出力手段は、スペクトラム拡散クロック信号を少なくとも出力可能なものであり、前記制御手段は、前記スペクトラム拡散クロック信号を使用して前記演出手段を少なくとも制御可能なものである、ことを特徴とする遊技台である。

本実施例 1 に係るスロットマシン 100 によれば、スペクトラム拡散クロック信号に基づいて演出手段を制御することができるため、制御負担やメモリ容量の増大を回避しつつ、従来よりも演出効果を高めることができる場合がある。

また、前記制御手段は、前記スペクトラム拡散クロック信号を使用してカウントされたカウント値を使用して演出抽選を少なくとも実行可能なものであり、前記制御手段は、前記演出抽選の結果により前記演出手段を少なくとも制御可能なものであってもよい。

このような構成とすれば、スペクトラム拡散クロック信号に基づいて演出抽選を行うことができるため、制御負担やメモリ容量の増大を回避しつつ、従来よりも演出効果を高めることができる場合がある。

また、一周期に出力される前記スペクトラム拡散クロック信号の数を、前記カウント値がとり得る値の数と異ならせてもよい。

このような構成とすれば、乱数生成サイクル時間を把握することが難しくなるため、演出手段の制御に用いる乱数の狙い撃ちを一層困難とし、不正行為を効果的に防止することができる場合がある。

また、一周期に出力される前記スペクトラム拡散クロック信号の数を、前記カウント値がとり得る値の数より少ない数としてもよい。

このような構成とすれば、乱数生成サイクル時間を把握することがさらに難しくなるため、演出手段の制御に用いる乱数の狙い撃ちを、より一層困難とし、不正行為を効果的に

防止することができる場合がある。